

欧米豪現地事業者とのダイレクトネットワーク強化等による瀬戸内情報・旅行商品流通環境整備事業 (FAM ツアー) 企画提案書作成要領

一般社団法人せとうち観光推進機構が実施する標記業務の委託に係る公募型プロポーザルに関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、プロポーザル参加者は、本事業の業務委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

1 企画提案時の提出書類及び構成

(1) 提出書類

正本1部、副本6部及び電子データを提出すること。

(2) 構成

ア 表紙

イ 欧米豪現地事業者とのダイレクトネットワーク強化等による瀬戸内情報・旅行商品流通環境整備事業(FAMツアー)に係る提案書

ウ 事業実施スケジュール

エ 事業実施スタッフの業務内容並びに体制図

オ 事業実施実績（本業務に類似する業務に限る）

カ 見積書

(3) 留意事項

ア 仕様書の趣旨を十分にくみとり、具体的に提案すること。

イ 事業実施スケジュールについては、具体的に記載すること。

ウ 見積書については、本業務に係る所要経費を全て見積るとともに、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

2 作成要領

(1) 用紙は、原則A4判（必要に応じA3判の折込みも可）両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

(2) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(3) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。なお、事業実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

3 選定評価基準

(1) 基本的な考え方

本事業の目的、内容を十分に理解しており、目的の達成が期待できるか。

(2) 企画内容の優良性

企画内容が、具体性、妥当性、実現可能性を伴う、効果的な事業展開が期待できるものとなっているか。具体的には、以下の提案事項等に留意すること。

ア ツアー行程

・ ツアー行程の企画案は、仕様書記載のアフターコロナを意識した瀬戸内らしい行程の提案とすること。また、密を避けて感染防止に配慮した行程とするとともに、感染防止を徹底して

いる宿泊施設を視察する行程とすること。

イ 被招請者

- ・被招請者に関して、機構の他事業との連携を前提に、瀬戸内への送客意欲が強く、かつターゲット市場に影響力のある現地旅行会社等の適切な職務担当者（商品企画業務担当など）を招請する方法（または提案時点で想定できるリスト案）が具体的に提案されていること。

ウ アクティビティ

- ・視察ツアーのいずれかに、瀬戸内域内のサスティナブルを意識したアクティビティ、クルーズ、アート巡り、サイクリング、アイランドホッピング、観光列車等、ET層及びSIT層を想定したアクティビティを含んだ提案とすること。
- ※アクティビティは上述したものに限定するものではない。

エ 活動指標（アウトプット）及び成果指標（アウトカム）

- ・瀬戸内地域における誘客施策を効果的に実施する手法が具体的に提案されており、成果指標（アウトカム）を達成できるよう努めること。

（参考）活動指標・①現地旅行会社等の招請数：15社以上、②瀬戸内地域を組み込んだ旅行商品造成数：15社以上 15商品以上。

成果指標・ii. 旅行商品の予約販売人数1,500人

(3) 事業遂行の安定性

ア 業務体制について具体的に記載されており、十分な体制がとられているか。

イ 業務全体の実施スケジュールについて具体的に記載されており、確実な事業展開が可能と認められるか。

ウ 類似業務の実績があり、業務の着実な履行が期待できるか。

(4) 事業の実施に係る経費

事業計画に見合った経費となっているか。所要経費の明細が明らかとなっており、妥当性があるか。